

# オジギソウの不思議

北区立梅木小学校 第5学年



## 1 研究の動機

ぼくは小学4年の時、木直植物をテーマに育ち方や発芽を研究した。そして、木直植物に興味をもつようになった。今年の夏に緑化センターで「オジギソウ」を見つけ、触ると重く葉を不思議に思い、研究することにした。

## 2 研究の内容

- (1) どの部分を触れば葉が閉じるのか。
- (2) 葉が閉じてから元通りに開くまでの時間は、気温に関係があるのか。
- (3) 手で触る以外に葉が閉じるものは何かあるのか。

## 3 予想

- (1) オジギソウのどこを触っても閉じると思う。
- (2) 気温が高い時は遅く、低い時は速いのではないかと。  
(ぼくは、暑い時はぼろ、としていて、寒い時は体を重くかそうとするからそれと同じように考えた)
- (3) 強風の時や夜には葉が閉じていたので、手で触る以外にも閉じるものはあるのではないかと。



オジギソウ  
バルコニーで  
育てている。



強風で  
葉が閉じて  
いる様子  
(くきも  
たおれる!)

## 4 研究の方法

- (1) 葉の外側、真ん中、根元、うら、くきをつまよじで触り、結果をまとめる。
- (2) 気温が高い晴れの日と、気温が低い曇り・雨の日(時刻は10時、同じ葉)で言周べる。  
手で閉じさせてから元通りになるまでの時間をストップウォッチで計り、表にまとめる。
- (3) 直接接触するもの(えん筆、クリップ、ひも、糸氏)と間接的なもの(息、火(ろうそく)、におい(にんにく)、クラッカー(音、けむり))を言周べ、表にまとめる。

## 5 研究の結果

(1)	葉の外側	葉の真ん中	葉の根元	葉の裏側	くき
どの部分を触ると閉じるのか。					
	閉じる	閉じない	少し閉じる	閉じる	閉じない

### (2) 気温と、葉が閉じてから開くまでにかかった時間

日にち	8/4	8/5	8/27	8/28
天気、気温、湿度	曇り、28℃、48%	曇り、28℃、42%	晴れ、36℃、30%	雨、24℃、58%
開くのににかかった時間	11分22秒	9分41秒	7分11秒	7分8秒

# <葉が開いていく様子>

	1分後	2分後	3分後	4分後	5分後	6分後	7分後	8分後	9分後
25℃									
37℃									
28℃									

## (3) 葉は何によって閉じるのか。

	直接接触するもの				間接的なもの				
何で	えん筆	クリップ	ひも	糸氏	息	火(うそく)	におい(いんぱく)	音(ウツナ)	けむり(クワッカー)
予想	X	○	○	○	○	○	○	○	○
結果	○	○	○	○	○	○	X	X	X



## 6分かったこと

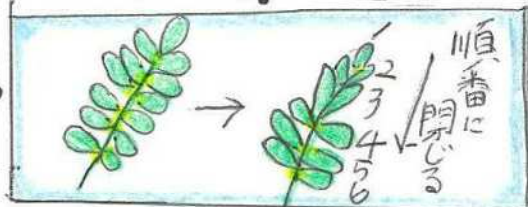
- オジギソウは、まん中とくき以外の音分は全て触ると閉じるということが分かった。

葉の先だけを手で触ると、他の葉も先から順々に閉じていくことが分かった。(若い葉)
- 葉が閉じてから元通りに開くまでの時間は、気温が高くても低くてもあまり変わらなかった。

37℃などの暑すぎる日は閉じたままだったので、28℃くらいの方がオジギソウの過ごしやすい環境だと分かった。
- オジギソウは、直接接触れるものだと葉が閉じる。

間接的なものでも、におい、音、けむりには反応しないが、火、息には反応した。熱や空気のゆれは感じることも分かった。

オマケ!  
ふわふわの花がさいたよ



## 感想

オジギソウには、他の植物とは違う特徴があるのがとても不思議とおもしろかった。暑すぎたり、風が強かったりした時は、葉を閉じてしまっていたので心配したが、おさまるとまた元通りになり、夏休みの間にぐんぐん成長していてうれしかった。これから、秋・冬と気温が低くなった時の様子も観察していきたい。また、他にもおもしろい植物を見つけて育ててみたい。

ペコリ!

